

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位	2単位	年次	2年次
使用教科書	実教出版『新日本史A 新訂版』						
副教材	山川出版社『詳説 日本史図録 第8版』						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「変化」「連続性」「原因」「結果」「重要性」「観点」などの概念に関する授業内の発問を通して、歴史的なストーリーを個人また対話の中で考察しながら、理解・思考を深めてほしい。
- ・授業で学習、考察、議論した内容をワークシートに記入する。
- ・論理的思考力を養い、レポート作成をする。
- ・歴史的な見方、考え方からプレゼンテーションを行う。

2. 学習の到達目標

諸資料に基づき様々な視点から考え、歴史的事象の因果関係を論理的に理解させる。歴史と現代の課題や自分とのつながりを見つけ出し、主体的に学び、歴史的思考力を養う。対話を通して、多様な価値観を受容する態度を育てる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断	c: 技能・表現	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	第1章 近代国家と社会の形成	欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程を理解する。	○	○	○	○	・開国前後の国際情勢と国内情勢への関心を高め、開国後の社会の変化や倒幕から明治維新に至る経緯を意欲的に追究している。 ・開国後の政治の主導権をめぐる争いについて考察し、その過程や結果を適切に考察している。 ・19世紀の世界地図から、欧米諸国のアジア進出を示す情報を読み取り、19世紀のアジア状況を考察する根拠として適切に活用している。 ・開国後の日本の動向について基本的な事柄を理解し、知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート レポート 小テスト 定期考査
5								
6								
7	第2章 二つの世界大戦と大日本帝国憲法	条約改正や日清・日露戦争前夜の日本の対外関係の変化を中心に、19世紀末から20世紀初頭にかけての近代史の展開を理解する。	○	○	○	○	・19世紀末から20世紀初頭の国内外の情勢への関心を高め、日清・日露戦争を経て日本が帝国化していく敬意を意欲的に追究している。 ・日本のアジアでの植民地拡大について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・この時期の世界地図から、アジア・アフリカの分割についての情報を読み取り、この頃のアジアの状況を考察する根拠として適切に活用している。 ・19世紀末から20世紀初頭の国内外の情勢について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査
8								

9	第3章 帝国とデモクラシー	第一次世界大戦とその影響、大正デモクラシーの始まりや日本の植民地支配の動向など、1910年代の近代史の展開を理解する。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀初頭の国内情勢、大戦後の国際情勢への関心を高め、日本が当時の国際社会とどう関わっていたのか意欲的に追究している。 ・大正デモクラシーと日本が協調外交を推進する背景について考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・大戦前後の資料を活用し、大戦によって何が変化したのかを把握することができる。 ・日本の植民地支配の動向など、1910年代の近代史の基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査
10	第4章 デモクラシーの展開と帝国の変容	大正デモクラシーの展開の中での、社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移の関係を分析・考察する。 世界恐慌と昭和恐慌についての一連の流れと、関東大震災や昭和恐慌への対応など、1920年代の近代史の展開を理解する。 勢力圏や非勢力圏への移民の移動と、帝国化する日本の様子について学習する。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大正時代の人々の、政治や社会の体制を改めようとする動きへの関心を高め、1920年代の近代史の展開を意欲的に追究している。 ・経済危機や震災において、人々がどう行動し、国がどのような施策をすべきか考える。 ・1920年代の世界地図から各国の動きを読み取り、欧米諸国と日本の植民地支配の状況を考察する根拠として適切に活用している。 ・1920年代後半の国政と外交の状況について基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査
11	第5章 アジアの戦争と第二次世界大戦	満州事変と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開を理解する。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1930年代の周辺諸国と国内情勢、アジア太平洋戦争の一連の流れについての関心を高め、日中戦争に至る経緯や、戦争が国民と周辺諸国に及ぼした影響について意欲的に追究している。 ・国家主義思想の台頭や戦時下の社会の状況と占領下のアジア諸国について多面的・多角的に考察し、皇民化を進めていく過程や結果を適切に表現している。 ・戦争がもたらす現実について知るために、具体的な諸資料を収集し、適切に活用している。 ・満州事変から敗戦に至るまでの近代史の基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査
12	第6章 現代日本の源流	国際連合の成立と冷戦期の世界の構造について学習する。 戦後日本の民主化が、何を目標としてどのような過程で行われたのか理解する。 国際社会の中の日本の立ち位置を把握する。 アジア諸国との国交正常化と沖縄復帰、ベトナム戦争の過程を学習する。 高度経済成長期の始まりとその影響について学習する。 石油危機が日本や世界に与えた影響について分析・考察する。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦前期の国内外の情勢への関心を高め、資料から各国の思惑を分析・考察する。 ・戦後の日本国内の様子や政策と、その意図を分析・考察する。 	授業での観察 ワークシート レポート プレゼンテーション 小テスト 定期考査
1	第7章 冷戦の中の経済成長	高度経済成長期の始まりとその影響について学習する。 石油危機が日本や世界に与えた影響について分析・考察する。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と日米安保体制への関心を深め、冷戦が東アジアに及んだ結果、人々にどのような影響が及んだのか、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・高度経済成長と石油危機の因果関係について理解する。 	
2	第8章 現代の日本	冷戦体制がどのようにして終わり、日本の政治にどのような影響をもたらしたのか学習する。	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀の国内外の情勢に関心をもち、資料を活用しながら知識を身につけ、解決策を考える。 	
3		21世紀に入り、世界と日本で何が問題になっているのか考える。	○	○	○	○		

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。